

史跡齋宮跡第205次（1区）発掘調査現場を公開します！

齋宮歴史博物館では、史跡齋宮跡第205次（1区）発掘調査を開始しましたので、発掘調査現場を気軽にご見学いただけるように県民の皆様に公開します。

第205次発掘調査現場は史跡西部に位置し、奈良時代の齋宮中枢域と推定される場所にあたります。調査地は、聖武天皇の娘の井上内親王（いのえないしんのう）など、奈良時代の齋王たちの居所である「齋王御殿」の一角と推定され、齋王に関わる殿舎の発見が期待されます。解明を進める発掘調査現場で、歴史ロマンを体感してみませんか。

- 1 公開期間 令和5年6月6日（火）から令和5年9月29日（金）までの
月・火・木・金曜日（土・日曜日は休日、水曜日は休止）

※ 雨天時や発掘作業を休止している場合は見学できませんので、ご来場の際は、事前にお問い合わせください。

- 2 公開時間 各日9時から12時および13時から16時

- 3 場 所 史跡齋宮跡第205次発掘調査現場
(三重県多気郡明和町竹川字中垣内428-2他)

※ 齋宮歴史博物館から南に約500mの近鉄線路北側です。車でお越しの際は、ふるさと広場南の砂利敷駐車場に駐車してください。駐車場から徒歩約5分で発掘調査現場までお越しいただけます。

- 4 参加料 無料

- 5 見どころ 奈良時代中ごろ（約1,250～1,300年前）の掘立柱塀で正方位に囲まれた方形区画があり、これを奈良時代の齋宮中枢域となる「齋王御殿」と推定しています。今回の発掘調査は、その内部構造の解明を目指して実施するものであり、重要な建物遺構や貴重な出土遺物の発見が期待されます。

- 6 問合せ先 齋宮歴史博物館 調査研究課
電 話:0596-52-3800（代表）
F A X:0596-52-3724



史跡斎宮跡 第205次(1区)発掘調査地とアクセス



第205次(1区)発掘調査地〔南東上空から〕